

教科書 P.84

フロン規制の物語⑤

～「杞憂」と「転ばぬ先の杖」のはざままで～

神里 達博

今日は、教科書 P.88～91を学習します。

今日の内容

国際ルールをつくるために

A 教科書 P.88～91「モントリオールへの道」「未完の物語」を読んで・・・

① 教科書 P.88～91に出てくる次の言葉を□で囲んでください。

- P.88 ・事実(E5)
P.89 ・したがって(E5) ・しかし(E15) ・そして(E19)
P.90 ・しかし(E5)
P.91 ・そのため(E1) ・以上のように(E2) ・しかし(E5)
・また(E6) ・いわば(E14)

以上「10のことば」です。

② あなたは、

I 「転ばぬ先の杖」Ⅱ規制するべき

Ⅱ 「杞憂」Ⅱ規制する必要はない

のどちらを選択しますか。考えてみよう。

③ モントリオール議定書が締結されるまで十年もかかったのはなぜだろうか考えてみよう。

④ 私たちが「これからしなければならぬこと」を考えてみよう。

B 教科書 P.88～91をまとめてください。

※資料「教科書 P.88～91のまとめ ノートづくり例」を写してください。

C Aの②・③・④を記述してください。

※今日のまとめです。

Aの②について

条件1 I・Ⅱのどちらかを選択すること。

条件2 選択した理由を述べること。(字数は制限しません)

条件3 あなたの意見をノートに記入してください。

Aの③について

・十年時間がかかった理由を記入しよう。

Aの③について

・地球で生活していくうえで、私たちがしなければならないことを考えてまとめてみよう。

今日の国語は以上です。

※ 次回から

「情報社会を生きる」くメディア・リテラシーく」

菅谷 明子

に入ります。

最初のページを創りましょう。

次のページに今日のノートづくり（例）があります。

No.1

フロン規制の物語⑤ 杞憂と転ばぬ先の杖のはずみで

神里 達博

国際ルールをつくるために

正式名

国モントリオールへの道

一九八七年 オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書

破壊する
フロンはオゾン層を

不明瞭なフレイミング

一九九七年 京都議定書

論争 II 転ばぬ先の杖 (規制すべき)

必須のものではないので規制するべきではないのである。

科学的な議論 (科学者)

企業・政治家・マスメディア

将来はよいくま世代も含めた議論

アメリカ
スプレッドの使用 (一九七八年)

将来後悔しないために私たちが今、行動をしよう。

便利なフロンを
不確定な根拠で
やめていこうとするのか。

根拠
意見

私は I・II の意見に同意します。
なゆなら

※文につながるように
見出しを添えてくると
具体例を入れると
良壁です。

(結果) 一九八二年 日本 南極観測隊の発見 (昭和基地にて)

オゾン量が異常に低下している (オゾンホール)

一九八七年 モントリオール議定書 締結 一九八九年 月発効

一部フロンの製造、使用を段階的に規制

何故一〇年も……考案しよう。

※どちらかに
○をつける。

以上です。

No.2

フロン規制の物語 ⑤のつぎは 乾はぬえの杖のはげすまで

国際ルールをつくるために

神里 康博

六 未完の物語

終わりのない...

モニトリオール議定書により規制された。 2020年目標(5割)

実は

結果

二〇二二年秋 オゾン層回復報告、WMO(世界気象機関)

代替フロンの開発

塩素を含まず、水素を含んだフロン

地球温暖化の原因 ↓

水蒸気・二酸化炭素・メタン・フロン

代替する必要性あり

温室効果ガスの濃度が上昇すること、地球の表面温度が上昇すること

人類の知恵、新しい科学的な知識や技術

(生活の豊かさ)

新しい問題の発生

「乾はぬえの杖の峻別」... 厳しく区別を守ること。

誰にとっても(と)のような意味で

修正・補完

良しのか、悪しのか。

どう生かされるか、生かしていかかを考える

科学的な思考力

夜会の中で生かすための柔軟な想像力

学びの必要性

知恵をつけまてくることが求められている。

私たちがこれから一歩だけ進めようとしていることをほつ。